

ROYAL-TIMES



写真=4F庭園の向日葵（2024年6月11日）

空梅雨

岡 聖史
2024年 7月 2日

6月に遅めの梅雨に入りましたが、雨が降らずに30度越えの日々です。空梅雨は単に雨が降らないというだけではなく、私たちの暮らしに様々な影響を与えます。

例えば、農作物への被害は、食料価格の高騰や食糧不足に繋がる可能性があります。また、水不足は、水道水の制限や農業への影響だけでなく、火災リスクの上昇なども懸念されます。さらに、熱中症リスクの上昇は、特に子供や高齢者にとって深刻な問題です。今後夏本番を迎えますが、暑さ対策を十分にとり、安全で快適な生活を守ることを目指していく所存です。

さて、今月は6月のまだ暑くない時期に行ったジャガイモ掘りの話題です。ご一読いただくと幸いです。



写真=ダリア（2024年7月5日）
ウォータープランターにて栽培されたダリア



写真= 4F庭園おジャガイモ掘の様子（2024年 6月19日）

ジャガイモ掘りました(1)

高橋 望
2024年 7月 11日

6月某日、よく晴れた暑い日に、ロイヤルホームでジャガイモの収穫を行いました。4月に入居者の皆様と一緒に植えた苗が立派に育ち、待ちに待った収穫の日がやって来ました。この時期に取れるジャガイモは「春ジャガイモ」と呼ばれ、皮がむき易く食感もなめらかで美味しいと言われています。

熟練スタッフがジャガイモを傷つけないよう丁寧に掘り上げ、収穫したジャガイモは次々とコンテナに入れられました。大小さまざまなジャガイモを見て、入居者様たちは「綺麗な形ね」「こんなに大きいのがある」と目を輝かせていました。収穫後、入居者様たちは日陰でジャガイモの泥を丁寧に落としました。ジャガイモは乾燥させなければならぬため、水で洗い流し

てはいけないとスタッフから説明を受け、手袋を着けて慎重に作業しました。皆様の手によって次々と泥が落とされ、ジャガイモが輝きを取り戻していきました。

こうして収穫されたジャガイモは、厨房スタッフの手によってスペシャルメニューのローストビーフの付け合わせとして美味しく振舞われました。入居者様たちは、自分たちで収穫したジャガイモを使った料理を堪能し、笑顔があふれる時間を過ごしました。

ロイヤルホームでは、これからも季節を感じられる作物の収穫を入居者様と共に楽しんで参ります。入居者様が自然と触れ合い、日々の生活に彩りを加えることができるよう、さまざまな活動を企画してまいります。次回の収穫もどうぞお楽しみに。

今月のトピック

ジャガイモ掘りました(1)

ジャガイモ掘りました(2)

委員会活動報告(運営連絡会)

園芸日記

ジャガイモ掘りました(1)

平川 昌史
2024年 7月 7日

当施設では収穫できた農作物は厨房にお願いし、イベントやご入居者様へのお食事へ素材を活かした料理でのご提供をさせていただいております。今回収穫されたじゃがいもは6月22日開催された家族会でのローストビーフの付け合わせのフライドポテトと朝食の煮物、ポトフ、昼食のお魚料理の付け合わせの1品に調理されたとのこと。ご入居者様にも収穫までお手伝いいただいている作物なので、出来るだけメインとなる様に、ご入居者様に楽しんでいただけるよう形を崩さない様な調理方法を選ばれているとのこと。今回は新ジャガで鮮度が良かったので“皮付きのまま”“小さい物はそのままの大きさ”でお出しすることも心掛けたとのこと。また時期的に食中毒のリスクがあるメニューはお出ししない配慮をされているとのこと。厨房の職員の方から「季節にあった野菜の収穫をされるとと思いますので、時期をずらさずに楽しんでいただける様提供していきたい」というお言葉をいただきました。今から次回の収穫が楽しみです。



写真=ジャガイモの泥を落としている様子(2024年6月19日)

VOICE

2024年 7月 15日

・皆様こんにちは。3月から介護士として働かせていただいています。ベトナムから参りました。5年目で介護を勉強しながら、働いています。日本語と介護のはまだ未熟ですが、皆様のおかげで少しずつ慣れてきました。当初は3年だけ働いて、その後帰国するつもりだったのですが、介護の仕事がどんどん好きになり、ご利用者の笑顔と「ありがとう」の言葉を頂いて、やりがいを感じ日本に長く残るようになりました。



・ご利用者の笑顔だけではなく職員も大切だと思いますので、毎日現場でいい雰囲気を作りたいです。ご利用者が元気に充実した日々を過ごせるよう職員同士で話し合い、ご利用者の安心感を頂くように日本語と介護の技術をアップしながら、対応させていきたいです。ただ日本語と介護の仕事の勉強がまだ不足ですが精一杯頑張りますので、どうぞ皆様のお力添えをお願い致します



振り返り

岡 聖史
2024年 7月 5日

過去は現在の一部であるといいますが、過去のままであることも少なくありません。昔親しかった人とも疎遠になることは多いです。連絡を取ろうかと考えますが、面倒がられるのが嫌でためらいます。他の人はどうしているのかと気になります。これは親子の関係においても同様で、子供も成長すると親元を離れていきます。親には同じ思いをさせたくないですが、距離感が難しいですね。

ドライバー石原の 園芸日記



今年も猛暑の夏がそこまで来ています。そんな中、中庭の木を伐採し胡瓜とゴーヤの畑をつくり、実った野菜はご入居者様の口に届き始めています。夏の花のヒマワリも所狭しに咲きました。今年はお入居者様のご協力で大きな花がいっぱい。30cmもあるダリアから1mもあるグラジオラスも咲き誇っています。是非屋上へ足を運んでください。
← 写真=(2024年7月5日 夏野菜の庭)

委員会活動報告 (運営連絡会の開催)

岡 聖史
2024年 7月 11日

2024年6月21日(土)、新型コロナウイルス感染症の影響で開催を控えていた運営連絡会(旧運営懇談会)を、名称を新たに「運営連絡会」として開催しました。運営連絡会は、ご家族様とのより一層の距離縮めを目指し、意見交換の場として企画されました。当日の内容は、森川施設長による運営状況報告、ご家族様とフロア管理者による意見交換(今回はレクリエーション等サービスのご希望を伺いました)、昼食会、の3部構成です

参加人数は11名と、コロナ以前よりも少人数となりましたが、今後の施設運営に役立つ貴重なご意見を多数いただきました。ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。後日、議事録を送付させていただきます。これからも皆様のご要望に添える運営を目指してまいります。(右写真=運営連絡会の様子)

